

第4学年 体育科 学習構想案

日時 令和4年9月26日(月)第5校時
 場所 荒尾市立中央小学校体育館
 指導者 教諭 大城 翔

1 単元構想

単元名	ペアで合わせろ！2組ンピック！								
単元の目標	(1)マット運動の行い方を知るとともに、自己の能力に適した回転系や巧技系の基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。 (2)自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (3)運動に進んで楽しく取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。								
単元の評価規準	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	① マット運動の回転系や巧技系の基本的な技の行い方を知っている。 ② マット運動の回転系や巧技系の基本的な技を身に付けている。	① 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための工夫をしている。 ② 技の組み合わせなど課題解決のために考えたことを他者に伝えている。	① マット運動に進んで取り組んでいる。 ② きまりを守り誰とでも仲よく運動をしようとしていたり、友達の考えを認めようとしていたりしている。 ③ 場や器械・器具の安全に気を付けている。						
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）									
2組ンピックに向けた練習を通して、自己の能力に適した技を行ったり組み合わせたりする中で生じた課題を工夫して解決するために、考えたことを友達に伝えたり、友達からのアドバイスを受けたりしながら、仲よくマット運動に進んで取り組む児童。									
単元を通じた学習課題（単元の中心的な学習課題）					本単元で働かせる見方・考え方				
挑戦したい技、できるようになりたい技ができるようになるために、個人練習やペア（グループ）練習に取り組んで、2組ンピックでより素晴らしいシンクロ技を披露しよう。					マット運動の回転系や巧技系の基本的な技を「する」、他者の動きやタブレットで撮影した自分の姿を「見る」、グループで協力したり、声をかけ合ったりして「支える」、課題に応じた技の仕方や他者の考えを「知る」といった運動の多様な関わり方でマット運動の喜びや楽しさを味わうこと。				
指導計画と評価計画（8時間取扱い 本時7/8）									
時間	1	2	3	4	5	6	7（本時）	8	
学習の流れ	オリエンテーション	場の設定・準備運動・サーキットトレーニング・めあての確認							
	・めあての確認	めあて① できそうな技に挑戦しよう				めあて① シンクロ演技を試そう			シンクロマット発表会
	・学習の進め方	前転系	後転系	倒立回転系	バランス系	前転系・後転系・倒立回転系・バランス系を組み合わせる			
	・安全の約束	めあて② シンクロを楽しもう				めあて② お互いに見せ合いアドバイスをしよう			
・試しの運動	まとめ・振り返り・片付け								
評価の重点	知	観察							
	思						学習カード、観察		
	態	④						学習カード、観察	

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)				
小学校指導要領第3学年及び第4学年 [知識及び技能] (ア) マット運動の楽しさや喜びに触れ、回転系や技巧系の基本的な技の行い方を知るとともに、その技を身に付けること。 [思考力, 判断力, 表現力等] 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 [学びに向かう力, 人間性等] 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達に考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。				
運動の価値				
中学年の器械運動は、「マット運動」、「鉄棒運動」及び「跳び箱運動」で内容が構成され、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びに触れることのできる運動である。				
本単元における系統				
第1学年及び第2学年 器械・器具を使つての運動遊び (ア 固定施設) (イ マット) (ウ 鉄棒) (エ 跳び箱)	第3学年及び第4学年 器械運動 (ア マット運動) (イ 鉄棒運動) (ウ 跳び箱運動)	第5学年及び第6学年 器械運動 (ア マット運動) (イ 鉄棒運動) (ウ 跳び箱運動)		
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態) 29人(男子16人, 女子13人)				
■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(調査26人)				
調査内容	できる	調査内容	できる	
前転	26/26	側転	10/26	
後転	21/26	ブリッジ	22/26	
■本単元の学習に関する意識の状況(調査26人)				
調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
・マットで前転をしたり後転をしたりする運動は好きですか。	15	5	5	1
・友達の良い動きや良い部分を見つけたり、考えたことを友達に伝えたりしていますか。	5	15	6	0
・約束やきまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。	17	8	0	1
■考察 ・基本的な回転系の技である前転、後転は多くの児童が定着していた。 ・速報倒立回転に挑戦するときは、最初からできないから諦める児童も見られた。				

3 指導に当たっての留意点

<学校教育目標より>

学校教育目標：「あいさつ、そうじ、発表 そして笑顔 一人ひとりを大切に作る強くやさしい 中央っ子の育成」

- ・授業の始めと終わりの挨拶や、掃除に関連した準備や片付けに取り組む姿勢を大切に、前向きに授業に臨もうとする態度を認めていく。一人一人が楽しみながらマット運動に取り組む、難しい技についても挑戦し、成功するための解決方法を工夫したり、友達と意見交換したりしながら、最後まで諦めずに粘り強く取り組む姿が見られるような授業作りに努める。

<校内研修 視点1：学習過程の工夫>

- ・ペアでのシンクロ演技の発表会を
- ・学習活動の前半では、準備運動とともに回転系や巧技系の基本的な技につながるような、様々な感覚づくり運動を加えることで、マット運動へ取り組む体と心の準備ができるようにする。
- ・できるようになりたい技に挑戦して、個人の技を高めていくための時間を確保するため、単元を大きく2つに分け、前半を個人の練習で技能を高めていく時間を多くとり、後半をペアやグループで相談しながらシンクロを高める時間を多くとるようにする。

<校内研修 視点2：学習活動の工夫>

- ・前半の技能を高める時間には、グループごとの練習の場だけでなく、別に易しい場で練習できる場を設けることで、自分の能力に合わせた場で、練習に取り組めるようにする。
- ・単元を通して、タブレットを使ってアドバイスをする場面を作り、個人練習の際は、足が伸びていないなどを伝えやすくし、シンクロの際は、技の入りや決めポーズのそり方などを伝えやすくできるようにする。
- ・学習カードに自分が何に挑戦したかなどをわかるような形にし、成長を振り返ることができるような工夫をする。

4 本時の学習

(1) 目標

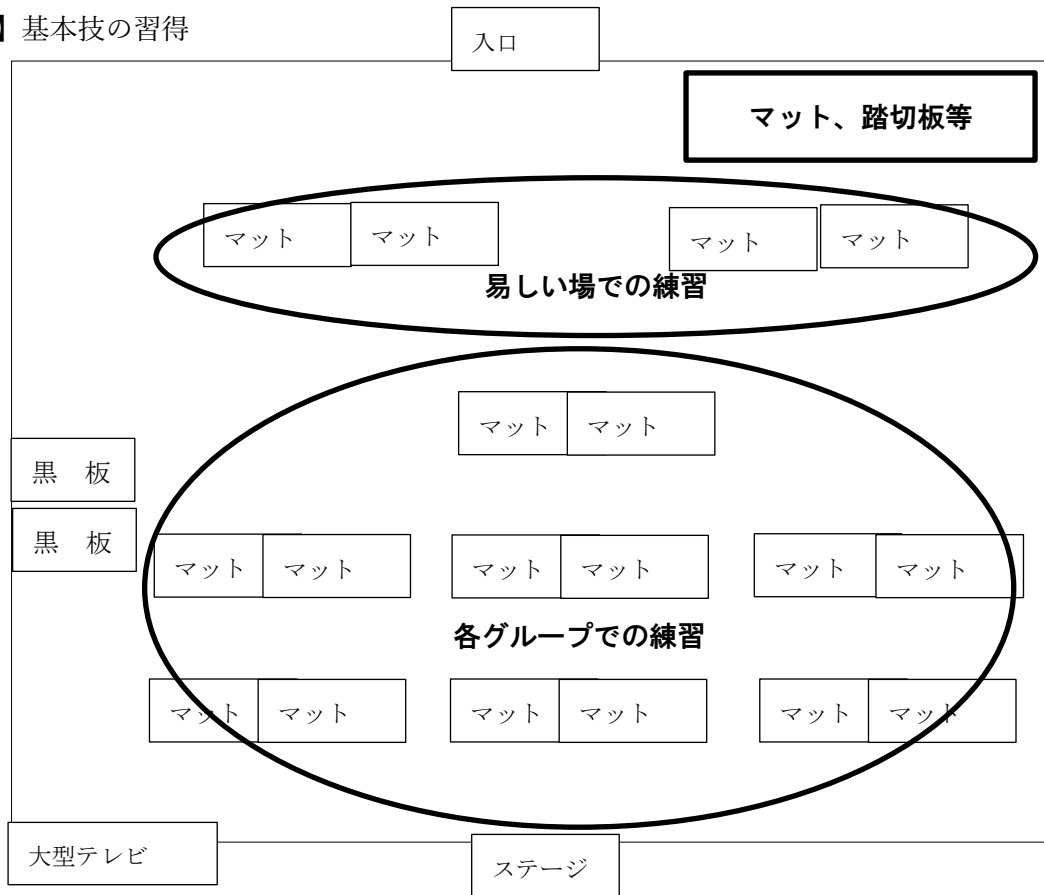
2組ンピックに向けて、自分の能力に合った技をペアの友達と息を合わせて挑戦する中で、より完成度の高い発表に
 するためにはどんなことを工夫すれば良いか考え、友達と伝え合うことができる。

(思考、判断、表現)

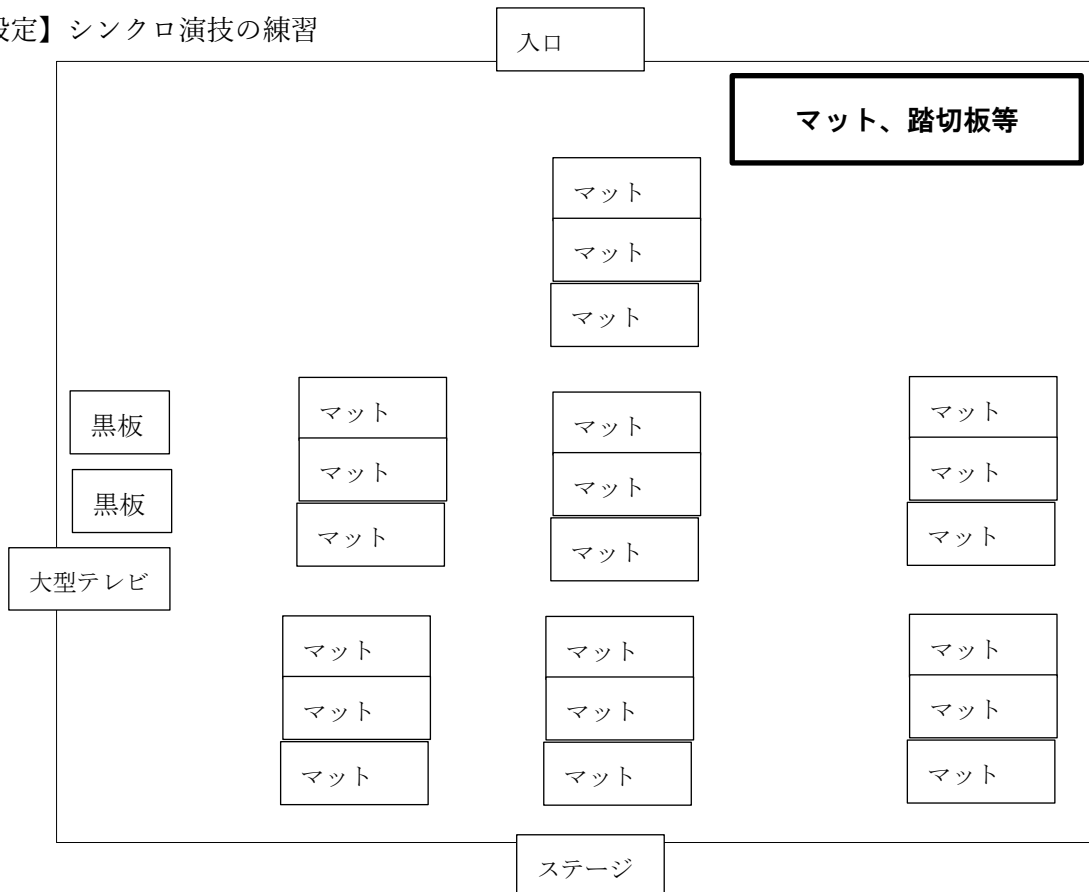
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等) □ : 運動の多様な関わり方
導入	15分	1 課題をつかむ。 ①準備運動 (感覚づくり運動含む) ②発表に使う基本的な技や、できるようになりたい技の練習をする。 ③本時の学習の流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【めあて】 よりきれいなシンクロ演技を目指すために、ポイントを活かして友達と協力して取り組もう。 </div>	○準備運動とともに感覚づくり運動を行うことで、マット運動への体と心の準備を行う。 □ する ○前時までに自分のできるようになった技やできるようになりたい技をふり返り、シンクロ演技に活かすために練習する。 ○基本的な技を組み合わせたシンクロ演技をより完成度を上げていくことを確認する。
展開	25分	2 課題解決に向けて活動する。 ①シンクロ演技を練習する。 ②タブレットを使い、グループ内でシンクロ演技を記録し合い、工夫を考えて意見を交換する。 ◇僕たちのペアは、開脚前転が足が伸びていないからきれいに見えない。 ◇○○さんのペアは、技と技の間が流れるようでいいね。どのようにしているの。 ③個人またはペア、グループで考えた工夫や改善点を意識しながら、シンクロ演技の練習をする。 ◇私は、まずは一つ一つの技をもっと完璧にしたい。 ◇技と技の間で、足を違うように着いてみるのはどうだろう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【期待される学びの姿】 ・交流して得た工夫点や改善点をもとに、意欲的に練習に取り組んでいる。 ・互いに言葉をかけ合いながら活動している。 </div> ⑤ めあてに対するまとめを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【まとめ】 ポイントを活かして取り組んだら、きれいな演技ができる。 </div>	○ 前時までの学習で考えた組み合わせをペアで練習する。 □ する ○自分の姿を撮影したものを確認しながら思考することで、より具体的な工夫点や改善点が出るようにする。友達との意見交換の中で、友達のアドバイスを納得して自分の改善点に入れていけるような雰囲気づくりを意識する。 □ 見る・知る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【具体的評価規準】 ○自分の姿から、工夫点や改善点を考えるとともに、友達と意見を伝え合うことができている。 (思考・判断・表現) </div> 【到達していない児童への手立て】 ○組み合わせ技への挑戦に不安がある児童には、繰り返してみることから始めて、少しずつ不安を取っていく。 ○同じペア、グループで互いに支え合えるような雰囲気作りに努める。 □ 支える ○めあてに対して、ペアで話す時間をとる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○ポイントを活かして練習することの大切さを再確認する。 </div>
終末	5分	3 めあてに対する振り返りをする。 ◇今日はまだスムーズにできなかったけど、○○くんからアドバイスしてもらったところを次の時間にはもっと練習してきれいにできたらいいな。 ◇2組ンピックに向けて、より完成度を高めて、工夫しようと思いました。	○学習カードをもとに振り返りを行う。 ○今日分かったことや、次がんばりたいことなど友だちとの関わりを視点に振り返りをさせる。 □ 知る

【場の設定】基本技の習得



【場の設定】シンクロ演技の練習



4年2組 番 名前()

調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
・マットで前転をしたり後転をしたりする運動は好きですか。				
・友達の良い動きや良い部分を見つけたり、考えたことを友達に伝えたりしていますか。				
・約束やきまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。				

調査内容							
前転				側転			
後転				ブリッジ			
開脚前転				三点倒立			

4年2組 番 名前()

調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
・マットで前転をしたり後転をしたりする運動は好きですか。				
・友達の良い動きや良い部分を見つけたり、考えたことを友達に伝えたりしていますか。				
・約束やきまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。				

調査内容							
前転				側転			
後転				ブリッジ			
開脚前転				三点倒立			

4年2組 番 名前()

調査内容	とても	まあまあ	あまり	ほとんど
・マットで前転をしたり後転をしたりする運動は好きですか。				
・友達の良い動きや良い部分を見つけたり、考えたことを友達に伝えたりしていますか。				
・約束やきまりを守って、友達と仲良く体育の学習に取り組んでいますか。				

調査内容							
前転				側転			
後転				ブリッジ			
開脚前転				三点倒立			